

襲撃の「前兆」



鈴木 一生

米首都ワシントンの連邦議会
議事堂の地下には議員や議会関
係者らが使う地下鉄が走ってお
り、議員たちの事務所がある建
物との間を結んでいる。周辺の建物と建物をつなぐ
地下道もあり、通行証があれば地下でさまざまな場
所に移動が可能だ。

ワシントンに住むエリオット・カーターさん(32)
は大学を卒業後、議会でインターンをした際に首都
の地下の世界に興味を持った。「建物の案内表示に
は個別の地下道が表記されているのみ。全てを包括
的に示したものは何もなく」。歩行者用や車の
地下道、地下鉄、下水道のトンネルなどを調べ、
2018年にワシントンの地下の拡張を時代ごとに
理解できるウェブサイトを作り上げた。

そんなカーターさんのサイトに異変が起きたのは
21年1月1日のことだった。突然にサイトのアクセ
ス数が跳ね上がっていた。調べると、その多くは「ト
ランプ（前大統領）の勝利」などと名前の付いたサ
イトや匿名掲示板サイトで共有されたリンクからの

訪問だった。これらのサイトにはカーターさんが作
製した議事堂周辺の地下の地図に、軍事作戦のよう
な書き込みがされている写真も掲載されていた。

驚いたカーターさんはすぐに連邦捜査局(FBI)
に通報した。「過激主義者が議事堂への侵入経路を
探しているのではないか。悪い予感がした」と振り
返る。その5日後に起きたのが1月6日の連邦議会
議事堂襲撃事件だった。

FBIがカーターさんの情報提供をどう扱った
かは分からない。ただ、手薄な警備だった議事堂は、
トランプ氏の支持者ら数千人によって一時占拠され
た。20年大統領選でバイデン大統領が当選した結果
を最終確認する集計手続きは妨害され、警察官1人
を含む5人が死亡した。

20年大統領選の敗北を覆そうとしたとして起訴さ
れたトランプ氏は、24年大統領選に向けた共和党候
補指名争いで他候補を支持率で圧倒している。だが、
トランプ氏の裁判などに集まる支持者の数は警察当
局の警戒の割には少ない。過激な支持者らは地下に
潜るように自分たちが納得のいかない選挙結果だっ
た場合に備えているのではないか。次の大統領選に
はそんな恐ろしさがつきまといっている。